

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	03-01-01-03
事務事業名	幼保一体施設新設事業（伊里地区）		根拠法令・要綱等
事業開始年度	平成19年度		問合せ先
総合計画	大項目 基本目標	地域文化とひとが輝くまちづくり	担当課（室）
	中項目 基本施策	未来を支える人材を支えるまちづくり	職・氏名
	小項目 施策	施設整備	管理係長 坪本弘毅
		電話	0869-64-1802

事業の実施	
対象（誰・何に対して）	伊里地区の就学前園児、保育園児、幼稚園児
目的（何のために）	少子化が進み、働く女性が増加するなか、就学前教育検討部会の答申を踏まえ、幼保の垣根を超えた就学前教育を実施するため、平成22年4月開設を目指し、幼児教育と保育を兼ね備えた幼保一体施設を整備する。
行政活動（どのような方法で）	施設整備にあたり、施設配置、部屋の間取りなど、施設・設備について、子育て支援係と協同して研究検討する。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	就学前教育が実施できる施設の配置等を決定する。

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	幼保一体施設整備準備部会協議回数	回	-	3	40
	施設候補地策定及び管理運営方法の策定	回	-	1	-
	直接事業費	千円	-	0	0
	人件費		-	1,800	2,930
	事業費計		0	1,800	2,930
	国県支出金				
受 益 者 負 担 費	千円	-	-	-	
市 一 般 財 源		0	1,800	2,930	
必要人員	人		0.20	0.39	
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
幼保一体施設整備準備部会協議回数	説明	幼保一体施設整備準備部会の協議回数			
結果指標	結果指標量	回	-	3	40
	対前年比	%	-	-	1333.3%
	活動コスト	円	-	900,000	2,930,000
	単位当たりコスト	円	-	300,000	73,250
結果指標	施設候補地策定及び管理運営方法の策定	説明	施設候補地策定及び管理運営方法の策定		
	結果指標量	回	-	1	-
	対前年比	%	-	-	-
	活動コスト	円	-	900,000	-
	単位当たりコスト	円	-	900,000	-

事業の成果			
成果指標名	幼保一体施設整備準備部会協議回数	式又は説明	幼保一体施設整備準備部会における協議回数とする。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	-	3	40
対前年比			1333.33%
到達目標値	前年度以上	到達目標年度	19年度

事業の目的、対象、内容を考えてから目的・意図の意図する成果を踏まえ、多様化している保護者のニーズに対応できる幼保一体施設整備を図る必要がある。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)		
目的	開法令等で目的が定められており妥当である（法律・政省令）	妥当性評価<A~E>	B	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	課題認識		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている			
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している			
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある			
	行政活動	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である			
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい			
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A~E>	B	
		課題認識		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい			
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい			
	<input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難			
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある			
手 段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない			
	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求め職場内で改善に努めている			
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある			
	職 場	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている			
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい			
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識		
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある			
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している			
	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説 明	施設の配置、間取りなど、施設・設備の整備について、研究検討を重ねた。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	幼保一体施設整備準備部会の協議回数	結果指標量
	成果指標量		前年度以上

総合評価		評価<A>	
就学前教育の充実を目的として整備する幼保一体施設新設にあたり、就学前教育検討部会の答申や保護者のニーズ、効率的な運営の観点も踏まえ、また子育て支援係との連携のもと、研究検討を行った。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input checked="" type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果